

## 令和6年度 第1回

ナーシングホームざおう 運営懇談会 並びに

ケアステーションざおう介護・医療連携推進会議議事録

## 1. 開催状況

事業所名	ケアステーションざおう
所在地	広島県福山市蔵王町162-1
開催日時	令和6年 7月 11日 15:30~16:30
担当者 連絡先	小林 裕美
出席者	医療機関 ファミリークリニック 看護師長様 福山市介護保険課 ご担当2名様 包括 ご担当様 居宅 ケアマネ様 地域代表様 家族代表 2名様 入居者 1名様 施設職員 施設長森田 業務管理部長中奥 看護主任西尾 相談員小林

## 2. 入居者状況（定員80名）10月状況

累計入居者数（2022年4月開所時～ 2024年5月末まで）	150名
2024年6月末現在	65名
2024年6月利用者数	66名
平均介護度	要介護4
ご逝去	62名
他施設への転居等	21名
その他	別紙資料参照

## 3. 議題及び会議内容

<p>(1) 有料老人ホーム入居者の状況及び定期巡回随時対応型訪問介護看護のサービス提供状況の報告 資料をもとに中奥より報告、説明を行った。</p> <p>(2) 有料老人ホーム収支報告 資料をもとに中奥より報告、説明を行った。</p> <p>(3) 自己点検結果の報告</p>
---

自己点検表を基に、小林より報告、説明を行い、報告後、出席者に諮ったところ、自己点検は適正であると出席者全員異議なく承認いただいた。

(4) 事例報告（介護看護、医療、居宅との連携が図れた事例）

資料を基に、西尾より報告、説明を行った。

(5) 質疑応答

ご家族様

・（冗談っぽく）ご飯食べさせてもらってないと話すことがある。元気になってきた。

医療機関 ファミリークリニック 看護師長様

・遅い時間の往診にも対応してもらい、患者様やその家族様にも目を向けてもらえる。クリニックではなかなか難しいが毎回話をさせてもらいながら調整させてもらっている。

福山市介護保険課 ご担当2名様

・会議を通して来苑し直接入居者さんや家族とのやり取りを見てハード面、ソフト面含め確認が出来て良い。

・柔軟に対応できていてよい。

包括 ご担当様

・包括なのでこれまで担当入居者様がなく、ナーシングホームへはオープン時の内覧会以来にきた。受付の対応も良く、職員皆明るくとても良い印象。

居宅 ケアマネジャー様

・その方の持っている物、介護度、要望をどのようにキャッチされているのか。中の取り組みや自己実現として CM として何かできることはないか、CM がついていけないという悩みがある。

→どこの施設でももっとこうしてあげたいという思いが大きくある。しかし職員配置や国からのお金がない。全部は実行できない狭間にいる。もっとゆっくり話を聞いてあげたいと思っている。

今はイベントを行っている。今後は外へも出ていきたい。

ご家族様

・テレビのニュース等で色々聞くことがある。ここは新しい施設でもあり、そんなことはないが年月が経つと家族としては心配。

自分ができないことをやってもらっている。十分すぎることをやってもらっている。

地域代表様

・介護が難しい中、預かってもらい助かっている。自分の時間があるからこそできることもある。

→ご家族の思い、私たち職員の思いに違いが生じないように努める。

テレビ等で目にする虐待等に関してはまず密室にならない、言葉使い等気になる事は早めに対応している。

また、こうして皆さんに中に入ってもらい開かれた施設をおこなっていく。

森田施設長より

人工呼吸伊など含め対応させていただき力量を上げていく、介護職員対象にレベルアップを目標にしていく。看護職員は資格取得にむけて取り組んでいる。介護も研修

など組み勉強をしていく。

他よりちょっと医療に長けた介護をつくっていく。

16:30分 小林より本会議の予定事項がすべて終了した旨が告げられ、会は無事終了した。